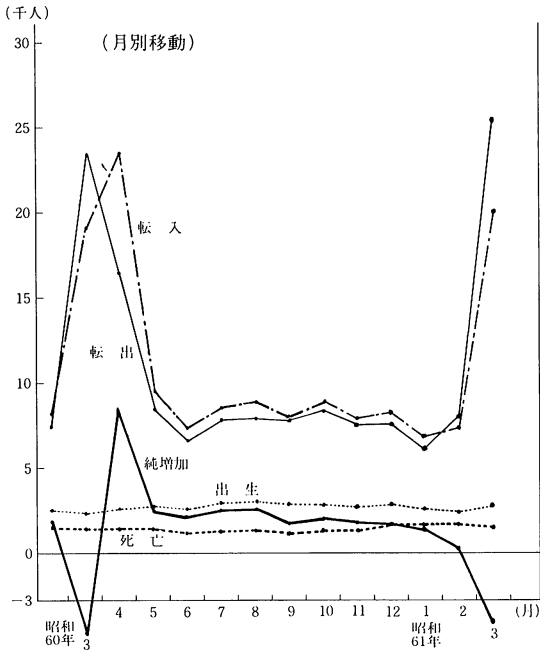


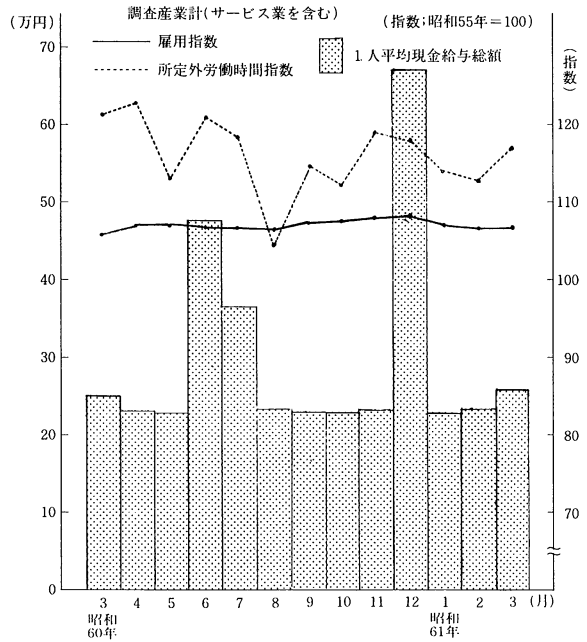
●今月の主な動き

今月の主な動き

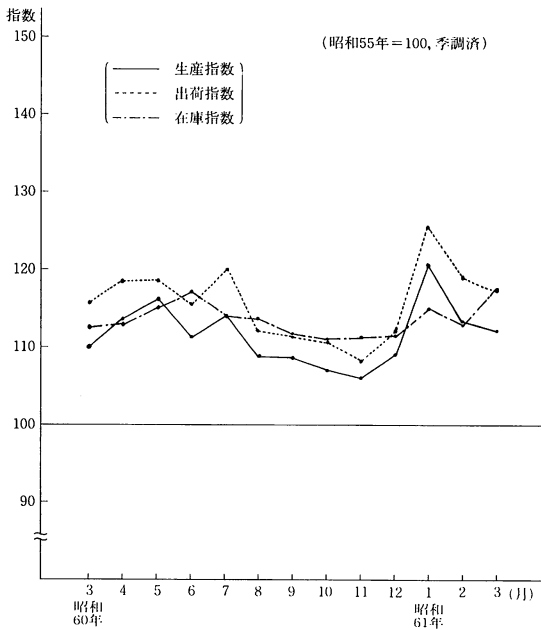
人口



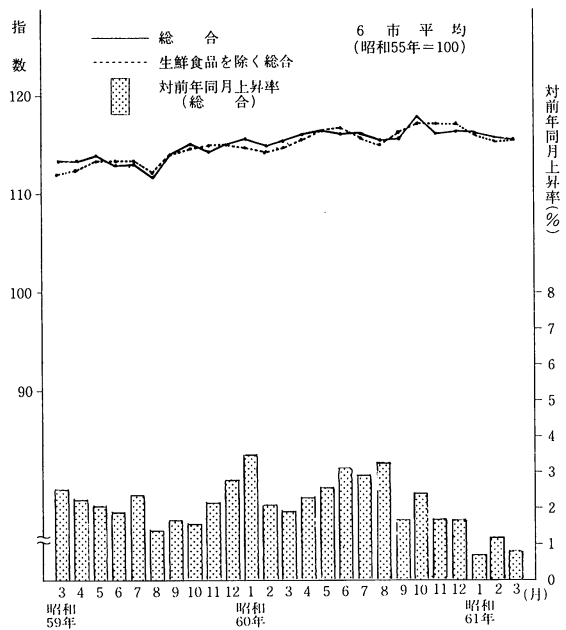
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (4月1日)

本県の人口は、3月中に4,247人減少し、4月1日現在で2,728,356人(男1,358,763人、女1,369,593人)となった。

内訳は、自然動態で1,278人(出生2,804人、死亡1,526人)増加したが、社会動態で5,525人(転入19,816人、転出25,341人)の大幅減少である。

市町村別では、増加が3市28町村、減少が15市43町村、

増減なしが3村である。3月は例年のとおり、学卒者を中心とした転出が目立つ月であり、特に、日上市、桜村は千人を超える減少である。

世帯数についても、1,612世帯減少して、758,730世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (3月)

1. 平均賃金の推移

3月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は258,970円で前月に比べ10.9%増(前年同月比2.5%増)であった。

このうちきまって支給する給与は230,534円で前月に比べ0.6%減(前年同月比3.5%増)であり、特別に支払われた給与は28,436円で前年同月に比べ1,057円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は174.8時間で、前月に比べ1.8%減(前

年同月比1.2%減)であった。

このうち所定内労働時間数は156.3時間で、前月に比べ2.4%減(前年同月比0.9%減)であり、所定外労働時間数は18.5時間で、前月に比べ3.4%増(前年同月比3.5%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.1で、前月に比べ0.1ポイント減、前年同月に比べ1.4ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (3月)

本県における昭和61年3月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が111.9、出荷が117.2、在庫が112.0で前月比は、生産が1.3%の低下、出荷が1.7%の低下、在庫が4.1%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.6%の上昇、出荷が1.3%の上昇、在庫が4.4%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工

業、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、鉄鋼業、繊維工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、鉱業、化学工業等が上昇し、窯業土石製品工業、木材・木製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財のみが上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。出荷では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、資本財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財が低下した。

■ 消費者物価指数 (3月)

昭和61年3月の茨城県消費者物価指数は、総合で116.2(昭和55年=100)となり、前月比0.1%の下落、前年同月比0.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料2.8%、油脂・調味料1.2%、飲料0.6%、交通0.5%

今月下がった主な項目……果物△3.7%、野菜・海草△3.0%、身の回り用品△2.6%、他の光熱△1.4%、自動車等関係費△0.7%、他の家具・家事用品△0.6%
生鮮食品を除く総合は116.2となり、前月比0.2%、前年

同月比1.1%の上昇となった。

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	116.2	△0.1	0.7	保健医療	117.2	0.0	0.5
食 料	116.7	△0.4	△0.3	交通通信	111.3	△0.1	2.0
住 居	120.9	0.2	4.9	教 育	140.2	0.0	4.3
光熱・水道	107.0	△0.2	△1.4	教養娯楽	118.2	0.3	1.5
家具・家事用品	110.8	△0.5	1.2	諸 雑 費	114.1	△0.5	0.1
被服及び履物	112.7	1.3	△1.7	生鮮食品を除く総合	116.2	0.2	1.1